年間授業計画　新様式例

高等学校 令和４年度（１学年用） 教科　芸術　　科目　美術Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　美術Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組･ 5 7.8 組

教科担当者：（ 1.2.3組：南葉　（ 4.5組：　金子）　（ 7.8組：尾関　）（ 組：　　）（ 組：　　）（ 組：　　）

使用教科書：（『高校生の美術1』116-日文　美Ⅰ-702　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目　美術Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的な美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成して創造的に発想し構想を練ったり価値意識を持って美術文化に対する感じ方を深めることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、美術を愛好する心情を育むと共に心豊かな生活や社会を想像していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 絵画	表現 デ	表現 彫刻	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元　風景画 ○風景の中の空間、形や色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、絵具などの特性を生かして表す。 ○場所や風景のイメージをもとに、形や色彩、構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞しあたりする。 ○風景から感じ取った良さや美しさなどを捉えて表す創作活動に主体的に取り組む。	○風景から感じ取ったことや、自分の思いなどから主題を生成する。 ○主題をもとに形や色、構図などの構想を練る。 ○光や陰影、奥行きの表現などを工夫し、絵の具の特性を理解して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り話し合う。	○			○	○風景の中の空間、形や色彩などが感情にもたらす効果や造形的特徴などをもとに全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 ○場所や風景を深く観察し、形や色彩、構図などの効果を考え、創造的な構想を練っている。 ○風景から感じ取った良さや美しさなどを捉えて表す創作活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	単元　色彩構成 ○形や色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、絵具などの特性を生かして表す。 ○場所や風景のイメージをもとに、形や色彩、構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞しあたりする。 ○風景から感じ取った良さや美しさなどを捉えて表す創作活動に主体的に取り組む。	○色の三属性について理解する。 ○主題をもとに形や色、構図などの構想を練る。 ○テーマに基づいた効果的な色彩表現を考える。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り話し合う。		○		○	○形や色彩、構図が人の感情にもたらす効果や造形的特徴をもとに全体のイメージで捉えることを理解している。 ○設定した色のテーマに基づき色の3属性及びアクリルガッシュの特性を生かして表している。 ○主題に沿った色彩の見え方や感じ方を深める鑑賞の創造的活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	単元　静物デッサン ○形や色彩、明暗、質感などの効果、全体的イメージを捉え表す。 ○モチーフの特徴や美しさなどをもとに、形や色彩、明暗、質感などの効果を考え構想を練ったり鑑賞したりする。 ○デッサンの基礎に主体的に取り組む。	○身近なものを描くことに関心をもち、モチーフを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどを大切にして素描をする。 ○モチーフを観察し、形や色、質感表現や奥行き、構図などの構想を練る。 ○線の種類や重ね方などを工夫し，デッサン用具の特性を生かして創造する。	○			○	○形や色彩、明暗、質感などの効果、全体的イメージを捉えることを理解している。 ○モチーフの特徴や美しさなどを観察し、形や色彩、明暗、質感などの効果を考え構想を練っている。 ○見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
2学期	単元　自然物（サザエ）の模刻 ○形や色彩、質感、量感などの造形の要素の働きを基に計画性を要する石粉粘土ならではの技法や特性を生かし創造的に表す。 ○自然物の形態をよく観察し細部表現をする。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り話し合う。	○彫刻の基礎的表現である塑像と彫像の違いを理解する。 ○自然物の形態をよく観察し細部表現をする。 ○形だけでなく着色することで、自然な色の美しさや、その構成要素を感じ取る。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り話し合う。			○	○	○形や色彩、質感などの性質や石粉粘土による造形の要素の働きを理解している。 ○自然物の形態をよく観察し細部表現に取り組んでいる。○完成作品を鑑賞し合い、作者の意図や工夫を感じ取ろうとしている。	○	○	○	10
	単元　塑像__フィギュア製作 ○形や質感、量感やバランス、動勢などの効果、全体のイメージを捉え、芯材や粘土、メディウムなどの材料の特質を捉えて表す。 ○表したい主題の形態をよく理解した上で構想を練ったり鑑賞したりする。 ○表情や動きを捉えて粘土で表す創造活動に主体的に取り組む。	○主題に応じた芯（骨組み）の材料や大きさについて理解する。 ○作品が自立できるバランスを考えて制作する。 ○彫刻刀や紙やすりで行う細部表現を覚える。 ○メディウムについて知り目的に応じ使い分ける。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り話し合う。			○	○	○風景の中の空間、形や色彩などが感情にもたらす効果や造形的特徴などをもとに全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 ○場所や風景を深く観察し、形や色彩、構図などの効果を考え、創造的な構想を練っている。 ○風景から感じ取った良さや美しさなどを捉えて表す創作活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
3学期	単元　コラージュ絵画 ○具体と抽象の組み合わせ、構図や色彩の効果、全体のイメージなどを捉え画材の特性を生かして表す ○想像や空想したイメージなどをもとに形態や色彩、配置、組み合わせなどの効果を考え構想を練ったり鑑賞したりする。 ○心の中の世界を表す創造活動に主体的に取り組む。	○想像したい世界をあらわすことに関心をもち，主題を生成する。 ○選択した絵画作品1枚からイメージした主題をもとに、形や色，構図などの構想を練る。 ○あらわしたいイメージをもとに、材料や表現方法を工夫して創作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取る。	○	○		○	○意図に応じて画材の特性や効果を生かすとともに、表現方法を創意工夫し創造的に表している。 ○想像したイメージから主題を生成し、画材の特性を生かし創造的な表現の構想を練っている。 ○心の中の世界を表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
											合計 52